

厚生労働科学研究費補助金（移植医療基盤整備研究事業）
分担研究報告書

小児脳死下臓器提供における家族ケアに関する研究

研究分担者 別所 晶子 埼玉医科大学 医学部 助教

研究要旨:小児脳死下臓器提供において、家族の意思決定のフェーズ、臓器摘出プロセスが進む間のフェーズ、全てのプロセスが終了した後の中長期的悲嘆のフェーズの3つのプロセスにおける家族ケアについて米国の専門家にインタビューし、より良い家族ケアの在り方を模索することを目的とした。方法は機縁法であり、親族の知人・知人の友人を対象者とした。質問項目を検討し、家族ケアの具体的な実際についてインタビューすることとした。3つのフェーズを分断しない、臓器提供のプロセス全体において家族を支える連続したサポート体制を見出せるのではないかと期待している。対象者の都合により、当初令和4年2月3月に予定していたインタビューが令和4年6月に延期された。

A. 研究目的

小児脳死下臓器提供において、①家族の意思決定のフェーズ ②臓器摘出プロセスが進む間のフェーズ ③プロセスが終了した後の中長期的悲嘆のフェーズ、の3つフェーズで家族を支える仕組みを明らかにする。そのために、小児脳死下臓器提供の先進国である米国の専門家にインタビューを行い、より良い家族ケアの在り方を模索する。

B. 研究方法

機縁法。親族の知人、知人の友人を紹介してもらい、対象者としてzoomにてインタビュー調査を行う。それに先立ち、小児脳死下臓器提供における家族ケアについての文献研究を行い、インタビュー対象者を決定し、インタビューの質問項目を検討した。

（倫理面への配慮）

埼玉医科大学人に関する研究倫理委員会にて審査中

C. 研究結果

インタビューの質問項目

- どのようなプロセスで小児脳死下臓器提供が行われているか。
- その中で、どのような体制で家族ケアを提供しているか。
- 家族ケア担当者は実際にはどのようなことをしているのか。
- なぜそのような体制になったのか。
- 長所はどこか。
- 不都合な点はどこか。
- アメリカでは全ての家族に臓器提供の提案をするのか。その場合、いつ、どこで誰がどのようにして提案するのか。
- 提供に同意しなかった場合はどうなるのか。
- 虐待で脳死になった子どもからの臓器提供はどうなっているのか。
- 宗教的な背景がない人にはどう対応するか。

他、17項目を設定した。

D. 考察

3つのフェーズを分断しない、臓器提供のプロセス全体において家族を支える、「連続した」サポート体制を見出せるのではないか。

E. 結論

インタビューの日程が、本来は令和4年2月と3月に予定されていたが、インタビュー対象者の都合により、R4年度6月に2人の対象者に対して第一回インタビューを実施することとなった。

F. 健康危険情報

（分担研究報告書には記入せずに、総括研究報告書にまとめて記入）

G. 研究発表

1. 論文発表
特になし
2. 学会発表
特になし

H. 知的財産権の出願・登録状況

（予定を含む。）

1. 特許取得
特になし
2. 実用新案登録
特になし
3. その他
特になし